

転写禁止

E L I C ビジネス & 公務員 専門学校

自己評価報告書

令和 3 年度

(令和 2 年度評価)

記載責任者 森 登志男

記載者 木村 公一

目 次

I	学校評価の意義	1
II	学校評価の流れ	1
III	学校評価者	1
IV	学校の教育目標	3
V	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
VI	評価項目の達成及び取組状況	6
	(1) 教育理念・目的・人材育成像	6
	(2) 学校運営	7
	(3) 教育活動	8
	(4) 学修成果	10
	(5) 学生支援	11
	(6) 教育環境	13
	(7) 学生の受入れ募集	13
	(8) 財務	14
	(9) 法令等の遵守	14
	(10) 社会貢献・地域貢献	15
	(11) 国際交流	15

I 学校評価の意義

ELIC ビジネス&公務員専門学校では、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

II 学校評価の流れ

①学園の中長期計画を達成するため、事業計画を作成する。②各教職員が事業計画に基づいて業務を遂行する。③各教職員が現状の問題点を洗い出し、総合的に評価する。④自己評価担当が評価内容を分析し、自己評価報告書（案）を作成する。⑤自己評価委員会を開催し、提起された課題点に対しての改善方針を定め、自己評価報告書を完成させる。⑥自己評価報告書の内容を学校関係者評価委員会にて検証する。⑦学校評価報告書を作成し、学園本部に提出する。⑧学校評価報告書の必要項目をホームページにて情報公開する。

III 学校評価者

①自己評価

ELIC ビジネス&公務員専門学校のすべての教職員が「自己評価者」となり、自己評価を実施する。自己評価担当者が内容をまとめ、自己評価報告書を作成する。

【自己評価者】

校長	森 登志男	教諭	水本 貴久
事務長	小林 真子	教諭	長谷川 靖洋
学年主任	木村 公一	教諭	西 託民
学年主任	加藤 佳明	事務職員	小島 祐子
渉外主任	徳永 好宣	事務職員	川瀬 知子
教諭	田口 和吉		

以上 11 名

【令和 2 年度自己評価担当者】

自己評価担当者は、次の本校教職員で構成される。

学年主任	木村 公一		
教諭	水谷 奈月		
事務職員	小島 祐子	以上 3 名	

②自己評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校自己評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

校 長	森 登志男	
事 務 長	小林 真子	
学年主任	木村 公一	
学年主任	加藤 佳明	
渉外主任	徳永 好宣	以上 5 名

③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

在学生保護者	2 名
本校卒業生	2 名
学生就職先	1 名
地域関係者	1 名

以上 6 名

IV 学校の教育目標

本校は、第二次中長期計画の最終目標である「設置校の全てが、持続的に自立可能な組織として確立している学校法人となること」に基づき、本年 3 年目となる同計画の評価・点検（C）を行い、その結果により改善（A）を行います。

V 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 中長期計画の着実な実行

- (1) 中長期計画に基づき、ビジネススキル科の募集停止、学費の増額などの学則変更を行います。それに伴いよりシンプルで合理的な体制を構築します。
- (2) 適正規模の定員数が継続的に確保できるように、中長期的視野で戦略を考えます。
- (3) 小規模ながら社会から評価される専門学校を目指し、公務員試験合格、各種資格試験合格、N2 合格等の結果を出すことを重視した学生ファーストな運営を行います。

2. 経営力の強化

- (1) 今後も社会から信頼と支援を得て、その役割を果たし続けられるよう、本年 4 月に新たに改正した寄付行為を踏まえて、一層のガバナンス強化・改善に努めます。
- (2) 運営委員会は、最重要事項二次中長期計画の先頭に立ち推進するものとします。

3. 学校ブランド力の強化

- (1) 建学の精神、校訓に沿った人材の育成を目指し、学生、保護者が満足する学校づくりをします。
- (2) 情報の共有、コミュニケーションの活発化により、活気ある組織とします。そのため公務員科と留学生科の担当者ミーティングを定期的に行います。
- (3) 学生から要望があるクラブ・同好会活動につき、学生中心に活動できるかを含め検討します。

4. 在学学生・生徒の安定的確保

- (1) 175名の入学が必須目標です。具体的には、公務員75名、IT・医療事務系40名、留学生60名です。特に12月末までの出願者増と姉妹校以外からの出願者増が、喫緊の課題となります。
- (2) SNSの担当者を増やし強化します。各科による情報提供、発信を戦略的に考え実行します。
- (3) 学生及び保護者のニーズを吸い上げ、データとして活用する仕組みをより強化するとともに、その施策を着実に実行します。校長、主任は、学生との面談、懇談会を企画し学校生活改善の意見を聴取します。
- (4) 留学生対象入学説明会を企画します。

5. 財政基盤と管理運営の強化

- (1) 学費等の値上げを行い、財政基盤の安定を図ります。
- (2) 教員組織の少数精鋭化と若手教員不足を見据えた将来展望を法人本部と共有し、総額人件費抑制に努めます。
- (3) 教務、学生指導、事務を担当する3名の主任体制を権限移譲も含め強化し、本校の管理運営体制の柱と位置付けます。
- (4) 各種試験の指導を考慮した休暇体制を推進するとともに、教職員の継続的不必要な居残りを根絶します。
- (5) 学園経理規程等に則り、現金の管理、学費の納付等を徹底します。
- (6) 教職員個人目標を5項目前後設定し、その達成度を教職員評価の一つとします。

6. 教学改革の努力

- (1) 非常勤講師の有効活動を推進します。教務部担当主任を中心に本校の弱点を洗い出し、その部分に秀でた講師を採用し補います。特に女性の専任教員がないことを鑑み、女性の非常勤講師採用を勧めます。
- (2) 社会人としてマナー教育、大人の自覚を促すため、指導部担当主任を中心に現状にプラスできる企画・方法を作成します。
- (3) 教職員の資質向上を図るため、他の大学、専門学校等との情報交換を行い効果的な教育方法を積極的に取り入れます。
- (4) 文部科学省が推進するICT教育の導入が小中高校で進む中、ICT教育プロジェクトを編成し本校のICT化を研究します。

7. 学生・生徒に対する学習・生活支援と広範な利害関係者との連携強化

- (1) 小冊子「絆」を保護者はじめステークホルダーに配付し、教育内容の理解に努めます。
- (2) キャリア教育を推進し、新たな企業、人気の企業へのアプローチを強化します。また公務員不合格者の就職先開拓を積極的に行います。
- (3) 金山地区、大須地区のボランティア活動へ参加し、地域社会との関係を深めます。

8. 施設等教育環境の整備・充実化

- (1) 補助金申請を前提に、エアコン、蛍光灯の工事を春休みに実施します。
- (2) 危機管理マニュアルは、昨年再検討した地震時の対応を徹底します。
- (3) 複合機能付き印刷機を新規購入し、業務の合理化を進めます。

VI 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.7
b. 学校における職業教育の特色は何か	3.2
c. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.9
d. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係 業界者・保護者等に周知がなされているか	2.7
e. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	3.0

■課題

特になし

(2) 学校運営

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
b. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
c. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.1
d. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.5
e. 教務・財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	3.3
f. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1
g. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4
h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.1

■課題

h) 重点①

- ・同じデータを各部署で入力しており、無駄な事務処理が複数ある。システム化すれば作業効率が上がる処理も多い。

■今後の改善方針

h)

- ・元データを一元化する必要はある。しかし、すべての処理を一元化すると逆に担当者の負荷大きくなる。統合する処理を検討していく。
- ・事務は大学で使用している DB システムを活用し効率化を図る
- ・教務はプログラム中心のデータ処理をアプリケーション中心に置き換える。

(3) 教育活動

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評 価 項 目	評 価
a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.3
b. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.2
c. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.9
d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.6
e. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.2
f. 関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.3
g. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.5
h. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.3
i. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7
j. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.4
k. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.9
l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.7
m. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.2

■課題

e) 重点②

- ・資格取得を中心に指導しているため、業界団体との関連が薄い。

f)

- ・本年度はコロナ禍でインターンシップは実施されていない。

h)

- ・外部からの意見を取り入れる努力はしているが、不足している。

m) 重点③

- ・日々の業務、学生サービス向上に追われており、最先端の知識を習得する取組が後回しになっている。

■今後の改善方針

e) 重点②

- ・企業人や外部講師の授業を増やし、実社会とのマッチングを図る。

f)

- ・インターンシップ時期、期間、回数、評価方法を再検討する。

h)

- ・保護者向けの参観授業、企業との意見交換会など、評価して頂ける行事を検討する。

m) 重点③

- ・研修に参加できる環境を推進する。

(4) 学修成果

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 就職率の向上が図られているか	3.2
b. 資格取得率の向上が図られているか	3.4
c. 退学率の低減が図られているか	2.5
d. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.8
e. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.8

■課題

c)	
・目標の退学率を上回っている。	

■今後の改善方針

c)	
・1年次公務員合格者の退学を軽減するため、申請方式や時期を見直す。	

(5) 学生支援

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評 価 項 目	評 価
a. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.1
b. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.1
c. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
d. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.6
e. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.5
f. 学生の生活環境への支援は行われているか	2.6
g. 保護者と適切に連携しているか	3.5
h. 卒業生への支援体制はあるか	2.7
i. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・就業教育の取組が行われているか	2.4

■課題

e)

- ・課外活動に対しての意思統一が出来ていない。

i) 重点④

- ・人材不足により、高校との連携が十分ではない。

■今後の改善方針

e)

- ・労働時間を考慮し、学生の満足・成長を促すことができるボランティア、部活動を充実させる。

i) 重点④

- ・公務員の出張授業については、姉妹校から実施を検討する
- ・高校生対象の模擬試験など新しい企画を実施していく。
- ・YouTube や Zoom を利用し遠隔授業を推進する。

(6) 教育環境

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0
b. 防災に対する体制は整備されているか	3.3

■課題

特になし

(7) 学生の受入れ募集

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.1
b. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.7
c. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.5
d. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.5

■課題

特になし

(8) 財務

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.3
b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.4
c. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.8
d. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.7

■課題

特になし

(9) 法令等の遵守

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5
b. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
c. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.3
d. 自己評価結果を公開しているか	3.9

■課題

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
a. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3

■課題

特になし

(11) 国際交流

評 価 項 目	評 価
a. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2.8
b. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.6
c. 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.3

■課題

特になし